

第21回五霞町青少年の主張大会

第21回五霞町青少年の主張大会が11月25日、五霞西小学校体育館において盛大に開催されました。

当日は、町長を始め町議会議員、教育委員、各小中学校PTA会長、社会教育委員、民生委員、青少年育成市民会議委員など多数の来賓や一般聴聞者が出席する中、各小中学校から選抜された10名の児童生徒が、日頃の考えや思い、また将来の夢などを力強く発表しました。

受賞者は次のとおりです。



《受賞者名》 (敬称略)

○五霞町青少年問題協議会長賞

五霞中学校3年 小澤 実央

○五霞町議会議長賞

五霞東小学校6年 大久保優子

○五霞町教育委員会教育長賞

五霞西小学校6年 木村 美月

○青少年育成五霞町民会議会長賞

五霞東小学校5年 栗原 桜

○五霞町青少年相談員協議会長賞

五霞中学校3年 齋藤 幸菜

○優秀賞

五霞西小学校5年 森田 陽葵
 五霞中学校1年 古谷 優貴
 五霞中学校2年 白方 美羽
 五霞中学校2年 大関 加奈
 五霞中学校2年 石川 輝



五霞町青少年問題協議会長賞を受賞した小澤実央さん

私たちの選ぶ権利

五霞中学校 3年 小澤実央

「選挙権年齢18歳に引き下げ。」このニュースを知っていますか。おそらく誰でも耳にしたことがあるでしょう。私はまだ、反対が賛成かの意見を胸を張って述べる自信はありません。正直、まだ私には関係のないことだと思っていました。しかし、来年から選挙権が引き下げられることが決まった今、15歳の私たちにとってこのニュースが遠い存在ではないこと、もっとこのことについて知らなくてはならないことを痛感しました。

まず、なぜ18歳なのでしょう。調べてみると、多くの国で18歳以上に選挙権があること、日本の将来を背負う若い世代の意見を政治にもっと取り入れていく狙いがあるといえます。

では18歳に引き下げることのメリットとデメリットはあるのでしょうか。すると「若者の社会責任感が育ち、社会保険などの負担の世代間格差について、若者の意見を政治に反映できる」というメリットと、「社会的経験の浅い若者は政治的判断力が乏しい」というデメリットがありました。

ただ、ここまで調べてみたものの、実際に自分が選挙権を与えられたら、

自分は国の未来のための判断をきちんとすることができるとか、と思うと自信はないし、心配です。でも未来の日本は他の誰でもなく、私たちが支えるもので、私たちが守らなければいけません。誰かがやってくれるだろう、という人任せの状態ではあまりに無責任すぎるのです。

だからと言って、ただ投票に行けばよいというわけではないでしょう。今の日本にとって何が求められているのか、何を重視しなければならぬのか、それをきちんと判断できないとどこに投票したらいいかわかりません。有権者としてただ情報を与えられるのを待っているのではなく、たくさんさんの情報の中から自分から情報を選び取る。自らの一票を意味のあるものにするには何も知らないままではいけないと思うのです。

今の日本は大きな問題を抱えながらも、さまざまな対策を取り、多くの技術を進歩させています。今、中学生の私たちにできることは何もないうちに思えてしまいます。しかし、3年後には将来の日本を担う大切な役目が私たちにやってきます。これからの社会の行く末は私達にかかっているのです。そのために、今できること。社会の様子に関心をもつこと。自分の考えをもつこと。それが私たちにとっての第一歩なのではないでしょうか。